

News Letter vol.40 2012.6.25

ベルギー王国ゲント大学への訪問 および国際学会への参加を通して

派遣国名:ベルギー王国
受入機関:ゲント大学
派遣期間: 2011.3.28~2012.6.1

私は、本派遣事業により、2012年3月31日から6月1日まで、ベルギーのゲント大学に滞在し、バイオサイエンス工学部の Bernard De Baets 教授の下で魚類の生息分布モデルに関する研究に従事しました。De Baets 教授が率いる研究グループ KERMIT (Knowledge Extraction, Representation and Management by means of Intelligent Techniques の略) では、様々な計算知能技術を駆使した高精度モデリングや時空間モデリング、知識ベース・モデリングを基本アプローチとして、理論から応用に至る幅広い研究を展開しています。

* * * * *



本滞在期間中には、複数の国際会議に参加し、計4件の研究発表を行いました。ドイツのホーエンハイム大学で開催された Upland Conference 2012 (4月16日~18日) では、タイにおける節水灌漑とマンゴー収量の関係を解析した結果について口頭発表しました。同会議期間中には、ベトナムやタイ、ドイツの旧知の研究者と再会できた上、日本からの参加者や九大出身者とも交流を深めることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。また、ゲント大学で開催された Benelearn

& PMLS 2012 (5月24日~25日) では、国内外来魚に関する口頭発表およびゲント大との共同している生息分布モデルの比較研究と魚類の遊泳行動を指標とする生態毒性研究に関するポスター発表を実施しました。本会議は、私自身の研究をゲント大の方々に理解してもらうためにも非常に良い機会となりました。

* * * * *

帰国直前には、九大とゲント大学の交流協定に基づく活動の展開について、ゲント大学の De Baets 教授 (バイオサイエンス工学部)、Botteldooren 教授 (工学部)、Niehaus 教授 (芸術・哲学部) と打合せすることができました。今年の活動を含めて、今後の活動の進め方と情報の共有等について協議することができ、非常に有意義なミーティングでした。今後、大学間の協力関係がさらに強化され、より多くの研究者や学生が交流できるようになることを強く期待しています。

* * * * *

最後に、本派遣事業のおかげで、目の前の研究だけでなく、将来的な研究展開についてもゆっくりと考えることができました。私の派遣を支援いただいた農学研究院 (農学部) および熱帯農学研究センターの皆様には心から御礼申し上げます。

